

平成 25 年度 生駒市行政改革推進委員会
第 6 回 会 議 録

開催日時 平成 25 年 7 月 11 日（木） 午前 10 時～正午
開催場所 生駒市役所 4 階 401・402 会議室

出席者

- （委 員） 森委員長、松山副委員長、藤堂委員、幸元委員、岡本委員、奥田委員、楠委員、松本委員
（事務局） 今井企画財政部長、西川企画政策課長、岡田企画政策課課長補佐、牧井企画政策課主事、石村企画政策課係員
（傍聴者） 2 名

議事内容

1 開会

2 案件

(1) 前期行動計画の取組状況の確認について

《(15)財政計画に基づく経常収支比率等の指標管理》

【参考資料の説明】

（事 務 局） 市債残高以外は目標を達成している。

（森 委 員 長） 現状値よりかなり改善している。重要な指標にウエイトを置いて評価するのか、全ての指標から判断するのか。生駒市では市長マニフェストに経常収支比率の改善を掲げており、重視している。個人的には、経常収支比率が下がっていることから、B 評価で良いと思う。

（岡 本 委 員） 国からの地方交付税のあり方によっても経常収支比率は変わってくるにも関わらず、これだけ数値が下がっているのは評価できるので、B で良いと思う。

（森 委 員 長） 総合評価は B 評価で良いか。

（各 委 員） 了承

（森 委 員 長） 他自治体との比較があればより分かりやすい。コメント(案)についてもこのままで良いか。

（各 委 員） 了承

《(19)人件費の総合管理と能力・実績を重視した給与制度の構築》

【参考資料の説明】

- (松山副委員長) この手当支給金額の中に特殊勤務手当は含まれているのか。
(事務局) 含まれていない。特殊勤務手当の時間や金額については調べていないが、減少はしている。
- (松山副委員長) 69,000 時間という時間数は、職員全員が毎日 5 時間程度残業しているということになる。
(事務局) 管理職員を除くと 600 人程度なので、1 年間に約 115 時間、1 ヶ月に約 9 時間の残業時間である。
- (松山副委員長) どこの部署の残業時間が多いのか。
(事務局) 市長部局や教育委員会等の一般事務職が多い。
(森委員長) 一般事務職の中で残業が多い部署はないのか。
(事務局) 時期によって差はあるが、職員数で残業時間を割るとそれほど部署による差はない。
- (岡本委員) 正職員の仕事を削減することによって、臨時職員の業務量が増えた等、他にしわ寄せがっていないのかが心配である。
- (松山副委員長) この数字だけでは、他の自治体と比較して多いのか少ないのかが分からない。
(事務局) 目標を立てる際に、類似団体の時間外勤務時間を調査した。自治体によってまちまちであったが、平均値ぐらいを目標として設定した。
- (奥田委員) 時間外勤務手当は届けを提出しないと付かないのか。
(事務局) はい。
- (岡本委員) 残業予定時間に終わらず、家に持ち帰ってするとすると、情報漏洩など、他の問題が起こってくる。
(事務局) サービス残業はあまりない。業務そのものに関わる書類等を持ち帰ることもほとんどないと思う。民間企業では就業時間になると強制的に電気が消されるので持ち帰らないと仕方がないという話も聞くが、生駒市ではそういったことはない。
- (森委員長) 時間外勤務手当・特殊勤務手当は減っているので、原案通りの評価で良いか。
- (岡本委員) コメントに、「時間外勤務時間を減らすことによる弊害が発生しないようにする必要がある」と追加してほしい。
- (森委員長) では、3 項目として、「人件費の削減に伴う弊害が発生しないような取組を同時に進めていく必要がある」という趣旨のコメントを追加する。

- (森 委 員 長) 報告書(案)の各項目について、ひとつずつ確認していく。
(事 務 局) 初めに、数値目標の達成率と取組状況区分割合を削除している
ことをお伝えしておく。
- (森 委 員 長) それで良いか。
(各 委 員) 了承
(岡 本 委 員) 数値目標に対する評価については、評価基準に基づいて評価し
ているので、評価基準表を入れてほしい。
- (森 委 員 長) 数値目標は重点を絞って審議したので、入れた方が良い。
(事 務 局) 「1(2)各取組項目の評価方法について」の「行政改革推進委員
会による評価」の中に記載する。

《(1)行政運営の状況の分かりやすい情報提供・効果的な情報共有～(14)ごみ半減プ
ランの推進》

- (森 委 員 長) 案のとおりで良いか。
(各 委 員) 了承

《(15)財政計画にも続く経常収支比率等の指標管理》

- (森 委 員 長) 案のとおりで良いか。
(岡 本 委 員) 「～H24年度の目標よりも悪く～」を「～H24年度の目標より
も低く～」に変更してほしい。
(事 務 局) 修正させていただく。

《(16)中長期的な税財源等の安定確保に向けた重点投資～(21)人事評価制度の効果的
な運用》

- (森 委 員 長) 案のとおりで良いか。
(各 委 員) 了承

《(22)職員の資質向上・能力開発の推進》

- (松 本 委 員) コメントの2点目について、明確な効果が見られないとまでは
言えないのではないか。
(森 委 員 長) 「～研修等がなされているが、実施による効果の検証が必要で
ある。」と修正することとする。
(事 務 局) 了承

《(23)重点施策を効果的に推進できる組織機構の構築と柔軟な運営》

- (岡 本 委 員) 報告書を公開するのであれば、PTの後ろに(プロジェクト・チ

ーム) と記載しないと分からないのではないかと。

(事務局) 取組内容の欄に記入する。

《(24)現場への権限委譲の促進》

(楠 委員) コメントの2点目について、「権限委譲」という言葉が3回も出てくるのはくどいのではないかと。

(奥田委員) H24年度に主な取組について、「副市長以下それぞれの～」という文言では、どこまでなのかが分かりにくい。

(森委員長) 「副市長から課長補佐までの決裁権限の～」と変更する。2点目のコメントについては、2つめの「権限委譲」を「その」と変更する。

(事務局) 修正させていただく。

(森委員長) 全体として意見はあるか。

(岡本委員) 14ページの2点目のコメントについて、文章が分かりにくい。

(森委員長) 「引き続き、他自治体の事例等を踏まえ、更なる民間委託の検討を進められたい」と修正することとする。

(藤堂委員) 生駒市で実施した民間委託の効果も検証するといった内容も含まれているのではなかったか。

(森委員長) 前回の審議ではそういった内容はなかったが、記載した方がよい。「引き続き、本市での実施案件の検証や他自治体の事例等を踏まえ、…」と修正することとする。

(松山副委員長) 民間委託をより進めていく対象がいくつかあり、例えば幼稚園の運営委託が挙げられる。したがって、「～更なる民間委託の導入や可能性の検討を進められたい。」としてほしい。

(森委員長) そのように修正することとする。

《1 前期行動計画の取組状況評価について 2 平成24年度取組状況評価結果 統括》

(森委員長) 1～2(1)について、原案どおりで良いか。

(各委員) 了承

(森委員長) 2(2)①について意見はあるか。まず、「数値目標の設定のない取組項目や取組目標が検討のみとなっている取組項目」と修正してはどうか。

(幸元委員) 取組項目が2回出てきてくどいので、「取組項目の中で、数値目標の設定がないものや取組目標が検討のみとなっているものにつ

いて」と修正してはどうか。

(森 委 員 長) そのように修正することとする。

(奥 田 委 員) 下から 2 行目について、「取組を行った内容」というのでは、過去の取組になってしまうので、「取組内容」としてはどうか。

(森 委 員 長) 下から 2～3 行目について、「具体的に」が 2 回出てくるので、後ろを「より明確に」と修正する。

(藤 堂 委 員) 「部の仕事目標」に掲げられた～困難であること。」について、「部の仕事目標」は部局が評価するもので、総合評価は本委員会で評価する。その辺りが分かりにくい。

(森 委 員 長) 「～に掲げられた取組状況の内部評価の内容のみで、本委員会が評価することが困難であったこと」としてはどうか。

(各 委 員) 了承

(森 委 員 長) 2(2)②について意見はあるか。

(藤 堂 委 員) 3 段落目の 1 行目について、主語と述語の関係がおかしい気がする。

(森 委 員 長) 「部の仕事目標」の評価は、～取組状況を反映したものであり、それが必ずしも～。」としてはどうか。

(各 委 員) 了承

(森 委 員 長) 2(2)③について意見はあるか。

(松山副委員長) 良い実績が出たときに、実績を上回る目標を掲げるべきというのは理解できるが、大切なのは前年度比ではなく、予算比だと思う。前年度比を超えたから目標を新しく設定すべきという言葉あまり強調すべきではないのではないか。最終文を「また、H24 年度の数値が～超える取組が存在し、H25 年度の数値目標が見直されることなく～」と修正してはどうか。

(森 委 員 長) では、そのように修正することとする。

(森 委 員 長) 2(2)④について意見はあるか。最後の文章について、「第三者委員会」を「本委員会」に修正する。

(松山副委員長) 下から 3 行目について、「他の分野に及ぼす影響」とは何を指すのか。

(森 委 員 長) 例えば、人件費の削減の中には市民サービスの低下や臨時職員や再任用職員の数等が含まれていないので、このように記載した。

(松山副委員長) 話を聞くと理解できるが、詳しく書かないと分かりにくい。

(藤 堂 委 員) 重要な視点ではあるが、取り組んだ結果、他の分野にプラスの

影響が及ぶこともあるので、プラスとマイナスの両面を記載すべきだと思う。

(松山副委員長) 「その取組が他に及ぼす影響について考慮されていないものもある。」としてはどうか。

(幸元委員) 2段落目について、1文目と2文目を繋げた方が分かりやすい。
(森委員長) 「～おかれるべきであるが、取組の達成状況では～」と修正する。

(森委員長) 2(2)⑤について意見はあるか。

(松山副委員長) 下から2行目について、類似団体だけでなく全国の自治体と比較すべきである。

(森委員長) 「そのようなケースでは、自治体間の比較を積極的に～」としてはどうか。

(各委員) 了承

(森委員長) 他に意見はあるか。

(岡本委員) 部署によって評価水準にバラつきがある。厳しく評価している部署と甘く評価している部署がある。バラつきが生じないように研修等を行うべきといったことは記載できないか。

(森委員長) 6番目の項目として「各部署において取組状況の評価のあり方が必ずしも統一されていないこと。」というコメントを追加する。説明として、「各部署において取組状況の評価のあり方が必ずしも統一されていないため、統一する必要がある。」という文面を付け加える。

(松山副委員長) 報告書を出した後に、担当課から意見がある場合は、フィードバックする機会を設けるべきだと思う。

(森委員長) 最後のまとめの文章に松山委員の意見を入れる。「～行動計画に掲げられた取組を着実に実施してもらいたい。なお、各部署による評価と本委員会による評価との間に不整合が発生している可能性が否めない。したがって、本委員会の評価を各部署で検討した上で、内部評価と外部評価の間で認識の違いがあると感じた場合は、より精緻な評価を追及することが求められる。」という趣旨の文面を付け加える。これで良いか。

(各委員) 了承

《おわりに》

(松山副委員長) 今は「関西一魅力的な住宅都市」ではないのか。

- (事務局) 様々な指標があるため、一概には言えない。
- (岡本委員) 生駒市は関西で3.4番目ぐらいだと思う。
- (森委員長) 本日の審議内容をまとめ、最終的な報告書とする。修正後の調整は、委員長に一任ということでよろしいか。
- (各委員) 了承

(2) 後期行動計画の策定方針(案)について

【資料2 行政改革大綱 後期行動計画の策定方針(案)、資料3 後期行動計画の策定に向けた取組項目等調査票(案)について説明】

- (松山副委員長) 「2①協働」について、行政・市民・議会が一体となって取り組むべきなので、「議員」もしくは「議会」という文言をいれるべきである。また、「2③自立」について、地方分権改革は進んでいるのか。
- (森委員長) 1点目について、「市民、市民団体、NPO、事業者、議会等多様な～」と修正することとする。
- (事務局) 方針及び視点については、行政改革大綱を要約して掲載しているため、あまり変更する予定はない。
- (松山副委員長) 地方分権改革は進んでいるのか。
- (事務局) 法律改正により自治体に権限が降りてきてはいる。
- (森委員長) もし修正が可能であれば、「地方自治体の自己決定権の拡大が求められる中で～」としてはどうか。
- (事務局) 重点を置いているのは「職員一人ひとり～」以下の部分である。
- (岡本委員) 項目7として、今回の検証による課題等を入れるべきではないか。
- (森委員長) 議論を踏まえて修正することとし、事務局で各部署に照会をお願いしたい。

3 閉会

決定事項

- ・本日の審議内容を基に、委員長と事務局で調整の上、「行政改革大綱 前期行動計画 取組状況評価報告書」を確定し、市長に答申する。
- ・本日の審議内容を基に、後期行動計画の策定方針を修正し、各部署に調査を実施する。